

令和6年度 第1回鹿児島市男女共同参画審議会 会議概要

日 時	令和6年8月21日（水） 15時00分～16時40分
場 所	市役所東別館5階 特別中会議室
出 席 者	委員18名 山田委員（会長）、上荒磯委員、大重委員（副会長）、鎌田委員、上村委員、崎浜委員、田中委員、永山委員、奈良迫委員、野田委員、馬場委員、日高委員、福島委員、松見委員、丸山委員、宮本委員、三輪委員、元野委員 （欠席：石走委員、川路委員） 女性活躍アドバイザー、市民局長、人権政策部長、男女共同参画推進課長、主幹、職員1名
会 次 第	1 開会 2 委嘱状の交付 3 市長あいさつ 4 自己紹介 5 会長・副会長の選出 6 議事 (1) 男女共同参画審議会について (2) 本市の男女共同参画の進捗状況について ①本市における女性の公職参画状況 ②第3次男女共同参画計画に基づく令和5年度事業実施状況及び令和6年度事業実施計画 ③推進計画の達成状況について 7 閉会
議事概要 ○委員 ●事務局	6 (1) （意見なし） 6(2)① ○女性の登用は多くなったが、地域の中では女性自身が平等な位置に自分たちを上げていない。女性自身も意識を持ちえていないように思う。 6(2)②③ ○ここ数年で男性の育休取得は大分進んだ。制度は整って一見働きやすい土壌はあるが、鹿児島における企業風土の中では、女性活躍推進は女性のためだけという意識がある。経営陣に、男性も女性もいろんな人が働きやすいという基本的な人権がダイバーシティに繋がっていくという意識がないと、女性は働きづらく、働きたくても県外を選ぶ。企業経営者に対する学びや提案を本気でやっていただく場があればと思う。 ○女性の起業に対する意識は高く、行政としてどのようにサポートできるかが女性活躍に関わってくる。扶養の範囲内で働く女性が多く、女性の中でも意識の改革が必要と感じる。 ○男性の育休は取得率のみで評価するのではなく育休中の過ごし方で効果を評価するべき。男性の働き方について、子どもが未就学の間は定時に帰るということも浸透してほしい。 ○審議会等の女性の比率が上がらない実態があるが、クォータ制で人数を決めてみてはどうか。何か変化が起こるのではないかな。 ○長年作られてきた職業上の役割分担がアンコンシャスバイアスとなっている。改善の取組をしている企業にはインセンティブ的なものを拡充していけたら。女性の就職支援にデジタル部分を強化できれば鹿児島の付加価値が上がるのではないかな。デジタル推進と女性活躍をうまく融合させることで変化がみられるのではないかな。